

社会的事象の意味を実感する子供を育てる社会科学習指導 ～追体験で事実のつながり確かにする活動を通して～

第四学年桜組 社会科学習指導案

指導者 宮原 正尚

単 元 昔のよさを未来に伝える太宰府のまちづくり

指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、自分たちの住む県内の人々が協力して文化財や年中行事を受け継いでいることや、地域の生産活動や発展、人々のまとまりへの願いが込められていることを捉えている。しかし、地域の自然や歴史と現在のまちづくりを行う人々の協力を関連付けて考えることは十分にできていない。そこで、まちづくりに関わる人々の協力と事実を関連付け、結果と背景の両面から考えることができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、体験した事実を基に太宰府政庁跡を保護・活用する人々の協力と、多くの人を集めるまちづくりを関連付けて考えることができるようにする。このことは、社会的事象の意味を実感する子供を育てる上で意義深い。
- 本単元に関しては、第4学年で久留米市の高良大社について調べ、人々の集まる場所を後世に残したい共通の願いから高良大社、市役所、地域住民が協力し、昔からの姿のまま保存して受け継いでいることを学習してきた。本単元では、これらの上に立って、太宰府市では、市役所、保存協会、市民の三者が太宰府政庁跡を保護・活用する仕組みで、人々の交流の中心としての歴史をもつ太宰府市のよさを味わうまちづくりをしていることを捉えることができるようにする。このことは、第4学年の外国と友好都市の関係を結び、市民や関係団体が協力して国際交流を盛んにすることで、世界中から人々を集めている福岡市のまちづくりを捉える学習へと発展していく。
- 本単元の指導に当たっては、市役所、保存協会、市民の協力による保護・活用の仕組みで、人々の交流の中心としての価値を味わえる太宰府市のまちづくりを捉えることができるようにする。特に本時指導に当たっては、まず、導入段階では、学習問題に対する保護・活用の重要性のズレから、まちづくりについて明らかにするめあてをつかむことができるようにする。次に、展開段階では、追体験の事実と感想を関係図に表し、考えをまとめるとともに、多くの人が大宰府政庁跡を訪れる仕組みや働きについて関係図を基に話し合うことができるようにする。最後に、終末段階では、既習を振り返り、太宰府市のまちづくりを伝える次時学習について意欲をもつことができるようにする。

目標

- 1 歴史的な価値を味わうことができるように、市役所、保存協会、市民が協力して太宰府政庁跡を整備して、人々を集めるまちづくりをしていることを捉え、体験や資料で得た情報を関係図にまとめることができるようにする。
- 2 市役所、保存協会、市民の取り組んでいることを関係図に表して説明し、太宰府政庁跡を保護・活用して多くの人を集めていることを関連付けて考え、太宰府市のまちづくりの特色について判断することができるようにする。
- 3 太宰府政庁跡を訪れる人が多いことに興味をもち、保護や活用の取組について意欲的に調べ、歴史的価値を味わうことができる太宰府市のまちづくりについて福岡県民としての誇りと愛情を養うことができるようにする。

計画 (10 時間)

- 1 太宰府市に残る古い建造物や遺跡の位置や歴史を調べさせ、学習問題を立てさせる。—————2
- 2 市役所、保存協会、市民の取組を調べさせ、太宰府市のまちづくりについて捉えさせる。—————6
 - (1) 太宰府政庁跡に関わる人に取材----- ①
 - (2) 保護する取組について ----- ①
 - (3) 活用する取組について----- ①
 - (4) 太宰府政庁跡の見学 ----- ②
 - (5) 太宰府市のまちづくりについて----- ①**本時**
- 3 学習を振り返らせ、太宰府市のまちづくりについてガイドブックに表現させる。—————2

本時 令和7年2月6日（木曜日）5校時 4年桜組教室において

- 主眼** 1 歴史的価値を味わうことができるために、保存協会の田中さんたちが太宰府政庁跡を整備し、市民の松尾さんたちが交流の中心地であったことを伝え続け、多くの人を集めていることを捉えることができるようにする。
- 2 市役所、保存協会、市民の保護と活用の取組に着目し、保護と活用の関係性や、歴史的価値を伝え続けた継続性について、関係図にまとめた考えを基に、太宰府市のまちづくりについて話し合うことができるようにする。

準備 追体験した時の写真資料、板書資料、東峰村のガイドブック

過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	具体的な支援 ※ ICT活用
導入	1 学習問題を振り返り、大宰府政庁跡に多くの人が集まることについて明らかにするめあてを話し合う。 【太宰府市の観光客】年間 880 万人【大宰府政庁跡の取組】守る、PRする PRすることで、たくさん来ていると思う。 守ることとPRすることの両方が必要だ。 松尾さんたちは、どのようにしてたくさんの人を集めているのか明らかにしよう。	○本時のめあてを話し合うことができるように、「多くの人を集めるには、何が大切でしょうか」と発問し、異なる考えの児童を意図的に指名する。
展開	2 保護と活用の仕組みに、追体験で捉えたことを関連付けて、たくさんの人が集まる理由を話し合う。 (1) 太宰府市に多くの人を集める方法について、つくった考えを交流して仕組みを明らかにする。 たくさんの人が集まる (2) 追体験したことを基に考えを見直し、たくさんの人が集まる理由を話し合う。 【大宰府政庁跡】税金によって、きれいに整備し、よさを伝えることができる。 本当にきれいに残っていたので、交流の中心であったことを味わうことができた。 交流の中心地だったことを味わうことができるから、たくさんの人が集まる。 (3) 保護と活用が継続的に取り組まれていることを話し合い、太宰府の歴史を生かすまちづくりを明らかにする。 【太宰府市の観光客】平成 16 年→年間 567 万人 令和 5 年 →年間 880 万人 【観光客の声】歴史が伝えられているよさを、ずっと行ききたかったので、やっと味わうことができました。 松尾さんたちが協力して、守ることとPRすることを続けていたからたくさんの人が集まったのだね。 交流の中心地だったことを味わうことができるために、松尾さんたちが協力して、守ることとPRすることを続けてきたことで、たくさんの人を集めている。	○守ることとPRすることを関連付けることができるように、環境税の資料を提示し「たくさんの人を集めたいのに、なぜ税金をはらうようにしているのだろう」と発問する。 ○追体験したことを基に考えを見直し、たくさんの人が集まる理由を話し合うことができるように、板書にまとめた仕組みを端末に配付し、自分の考えを付加、修正する場を設定する。 【事実のつながりを話し合う活動】 ○よさを味わい続けることができることに気付くことができるように、太宰府市の観光客数の資料や観光客のインタビュー資料を配付する。
終末	3 本時学習を振り返り、自分の考える太宰府市のよさを、ガイドブックで紹介する次時学習への意欲をもつ。 東峰村の学習みたいに、私たちの住む福岡県には太宰府市があり、大宰府政庁跡で歴史のよさを味わえることを、ガイドブックを作って紹介したいな。	○次時学習の方向性をつかむことができるように、既習の単元で作った東峰村のガイドブックを提示する。

本単元の構成

配時	学習活動と予想される子供の反応	具体的な支援 ※ ICT活用
45	1 太宰府市に残されている史跡や文化財について調べ、単元のめあてと見通しについて話し合う。 ○太宰府市には 1000 年以上前の寺や神社、大宰府政庁跡に関する史跡が残されていることについて調べる。 太宰府市には、どこに、どのような古い建物や場所があるのだろう。 【寺・神社】 観世音寺、太宰府天満宮、筑前国分寺跡、七重塔、多宝千仏石幢が市の中央にある。 【大宰府政庁跡に関するもの】 大宰府政庁跡、学校院跡、水城跡、国分瓦窯跡といった大宰府政庁に関わる跡が市の中央にある。 太宰府市の中央には、寺や神社、大宰府政庁跡に関する古い建物や遺跡が残っている。	○太宰府市に寺や神社、大宰府政庁跡に関するものが市の中央に残されていることに気づくことができるように、太宰府市に残る1000年以上前の建造物、遺跡を比較・分類させ共通点を考えさせた後、位置を示した地図を提示する。
45	○大宰府政庁跡の歴史的背景や現在に至る経過について調べ、大宰府政庁跡に多くの人を集める事象を追究する学習問題を立てる。 大宰府政庁跡とは、どのようなところだったのだろう。 【国外】 ・外国の役人を受け入れた。 ・遣唐使が必ず立ち寄った。 【国内】 ・九州の道で必ず通る。 ・九州の役人や子供たちが集まる。 外国と交流 九州内の交流 大宰府政庁は、外国や九州内の交流の中心地で、たくさんの人が集まるところだった。 今は建物が無い。 たくさんの人が集まる。 松尾さんたちは、大宰府政庁跡にどのようにしてたくさんの人を集めているのだろう。 ・大宰府政庁跡を守っていると思う。 ・大宰府政庁跡のPRをしていると思う。 【見方】 市民の松尾さん、市役所の田上さん 保存協会の田中さんがしていること 【考え方】 「たくさんの人が集まる」につなげる	○大宰府政庁跡の歴史的背景や現在に至る経過を調べることができるように、外国の役人が泊まった客館跡や遣唐使のルート、九州の役人や子供たちが集まった梅花の宴、学校院跡、当時の九州の道路の地図を提示する。 ○大宰府政庁跡に多くの人が集まる理由を調べる学習問題を立てることができるように、大宰府政庁跡に来る観光客のデータを提示する。
45	2 保存協会の田中さん、太宰府市役所の田上さん、市民の松尾さんたちの取組について調べ、大宰府政庁跡にたくさんの人を集めることができる理由を話し合う。 ○保存協会の田中さん、市役所の田上さん、市民の松尾さんに取材し分かったことを整理する。 【保存協会の田中さん】 <u>○守るため</u> ・史跡を点検する。 ・清掃のボランティアを計画し募集する。 <u>○PRするため</u> ・日本遺産に登録された昔の様子を展示する。 ・パンフレットやVRを設置する。 ・史跡解説員を育てる。 【市役所の田上さん】 <u>○守るため</u> ・条例を作る。 ・管理をお願いするきまりを作る。 <u>○PRするため</u> ・日本遺産に登録する。 ・多言語のパンフレットやVRを作成する。 ・市民遺産制度を作る。 ・イベントを許可する。 【市民の松尾さん】 <u>○守るため</u> ・きまりを守る。 ・清掃ボランティアに参加する。 <u>○PRするため</u> ・市民遺産に登録する。 ・歌碑巡りといったイベントを行う。 ・史跡解説員として説明する。	○詳しく取材をすることができるように、市民、市役所、保存協会の代表の3人に集まってもらい、グループ毎に移動して話を聞くことができる場を位置付ける。

45	○大宰府政庁跡を守る取組を調べ、保存協会、市役所、市民が協力して整備し、残し続けていることを調べる。 【保存協会の田中さん】 【市役所の田上さん】 【市民の松尾さん】 大宰府政庁跡をきれいに整備し、そのままに残し続けている。 保存協会の田中さんたちは、市役所の計画を基に管理し、清掃の計画を立て市民に清掃ボランティアの協力をお願いして、大宰府政庁跡をきれいに整備し、そのままに残し受け継いでいる。	○田中さん、田上さん、松尾さんたちが協力することにより大宰府政庁跡をきれいに整備し、残し続けていることを調べることができるよう、それぞれの関係を図で表し、文章で説明を書く活動を設定する。
45	○大宰府政庁跡をPRする取組を調べ、市民、市役所、保存協会が協力して昔の様子を伝えることができるようにしていることを調べる。 【保存協会の田中さん】 【市役所の田上さん】 【市民の松尾さん】 大宰府政庁跡が交流の中心であったことをたくさんの人に伝えている。 市民の松尾さんたちは、市役所の許可を得て日本遺産に関するイベントを行ったり、史跡解説員として昔のことを説明したりして、交流の中心であったことをたくさんの人に伝えている。	○田上さん、田中さん、松尾さんたちが協力することにより大宰府政庁跡で昔の様子を味わうことができるようにしていることを調べることができるよう、それぞれの関係を図で表し、文章で説明を書く場を設定する。
90	○大宰府政庁跡を見学し、大宰府政庁跡をそのままに残し、交流の中心であったことを味わうことができるかを調べる。 - 大宰府政庁跡の土地を、本当にきれいにそのままの姿で残しているのだね。 - 展示やVRを見たり話を聞いたりすると交流の様子がとてもよく分かったよ。	○大宰府政庁跡のよさを味わうことができるか、調べることができるように、VRを使いながら見たり、展示館を見学したりする活動を位置付ける。 【追体験する活動】
45 本時	○追体験して捉えたことと保護と活用の仕組みを関連付けたり、大宰府政庁跡の活用から保護へのつながりを考えたりして、たくさんの人が集まることについて話し合う。 交流の中心地だったことを味わうことができる。 多くの人を集めることができる。 交流の中心地だったことを味わうことができるために、松尾さんたちが協力して、守ることとPRすることを続けてきたことで、たくさんの人を集めている。	○追体験したことを基に考えを見直し、たくさんの人が集まる理由を話し合うことができるように、板書にまとめた仕組みを端末に配付し、自分の考えを付加、修正する場を位置付ける。 【事実のつながりを話し合う活動】 ○自分の考えを紹介することができるように、ガイドブックにまとめる方法を提示する。
90	○太宰府市の昔のよさを未来に伝えるまちづくりについて振り返り、ガイドブックに表現し、紹介したい人に伝える。 私たちの住む福岡県太宰府市の素晴らしいところをガイドブックで紹介しよう。	